

## 日本の貨物列車北海道編 正誤一覧

発売後に、キャプション(字幕)やナレーション(解説)の一部に誤りや、説明不十分な部分のあることが判明いたしました。お詫びして、ここに訂正させていただきます。

恐縮ですが、視聴の前に、下記の内容をご確認くださいませようをお願いいたします。

### 記

#### 【正誤訂正一覧】

##### 1. 第2部 4091 レのナレーション

**誤** 4091列車の中ほどに積まれた黄緑色の廃棄物輸送コンテナの中には、処分される蛍光灯や乾電池が詰まっています。

**正** 4091 列車の中ほどに積まれた黄緑色をしたUM13A 廃棄物輸送用コンテナの積荷は、道内から秋田へと向かうシュレツダーダストです。

**補足解説** 本州から留辺蘂イトムカ鉱業所へ輸送されていた廃乾電池や廃蛍光灯は、当時、W18D(「〇環:マルかん」と呼ばれるJR貨物の廃棄物輸送コンテナ)を使用していました。

##### 2. 第3部や第5部など 字幕数カ所に同一の誤字

**誤** 東室蘭(繰)、釧路(繰)、 **正** 東室蘭(操)、釧路(操)、

##### 3. 第4部 LNG輸送の中のコンテナ形式

**誤** UT24C 形式38000 番代、 **正** UT26C 形式38100 番代

##### 4. 第5部 釧網線のC重油輸送列車を解説したナレーション

**誤** 「使用されたタンク車はタキ11000 形やタキ17000 形などで、いずれもタンク本体に高張力鋼を使用し、軽量化が図られています。」

**正** 「タンク車には、タキ11000 形式やタキ17000 形式の他に、1両だけ在籍したタキ20000 形式も使用されていました。これら3形式のタンク車には、いずれもタンク本体に高張力鋼が使用されて、軽量化が図られました。」

##### 5. 道内石油輸送に関する名称

**誤** 日本オイルターミナル旭川油槽所 ナレーション読み:「につぼん……」

**正** 日本オイルターミナル旭川営業所、 ナレーション読み:「にほん……」

**誤** 新日本石油 ナレーション読み:「しんにつぼんせきゆ」

**正** 新日本石油 ナレーション読み:「しんにほんせきゆ」

##### 6. 音別駅にて解結を行う貨物列車について

**誤** 音別駅で行われているコキ車の解放・連結を説明するナレーション内容

**正** 「上下各1本の列車が音別駅に停車します。下り列車に対してはコキ車の解放が、上り列車に対しては清涼飲料水などを積んだコンテナを積載したコキ車の連結が行われます。」

##### 7. 上の6で、音別駅を発車した下り列車に関するナレーション解説

**誤** 「厚別駅から古瀬駅にかけては太平洋沿岸を走る区間が多く、……」

**正** 「厚内駅から古瀬駅にかけては、線路が海岸に沿って敷設されている区間が多く、……」

## 8. 釧路西港地域における、石油元売り各社と石油輸送列車との関係

**補足解説** 1990年代当時、釧路西港地域に油槽施設を持つ石油元売り各社は、  
東西オイルターミナル、ジャパンエナジー、新日本石油、出光興産、昭和シェル石油

● **ジャパンエナジーから出荷** 新富士 ⇒ 西帯広油槽所へ鉄道輸送

新富士からの輸送終了後は、本輪西(新日本石油室蘭製油所) ⇒ 西帯広油槽所へ鉄道輸送

● **出光興産・ジャパンエナジー・新日本石油から出荷**

新富士 ⇒ 中斜里(ホクレン中斜里製糖工場)

(※ 北海道在住の方からご教示いただきましたのでご紹介しました。ありがとうございました。)